

非破壊検査と耐久性診断で

長で東京大学生産技術研究所の魚本健人教授は「コンクリートの非破壊検査と耐久性診断について」で、「現状は施工段階や完了時検査がほとんどで、コンクリート打設後の検査は目視が主流になっている。しかし山陽新幹線の落下手故以来、目視だけでなく打音検査も必須になっている。非破壊検査には各種あるが、過度な期待は禁物だ。やはり打設前の検査を人意にすべきだ」等と説明した。

一町内
円内
ロードミラー磨く

金峰町法人会奉仕活動

日置郡金峰町法人会（会長・室屋正和(株)日峰測地会会長）は21日、地域貢献運動の一環として同町内一円のロードミラー清掃作業の奉仕活動を行った。

奉仕活動は、7月の金峰クリーン作戦に続き、回目で、33事業所に参加を呼びかけ7班に分かれ、まだ薄暗い早朝6時過ぎから国道270号、県営20号など軽トラックに立を立、洗剤を使ってピカピカになるまでロー

ドミラーを磨いたほか、周辺の竹や木々も伐採した。

室屋会長は「秋の行楽シーズン、交通量も多くなり皆さんが磨きあげたミラーから事故撲滅を図り明るい町内づくりを目指したい」と話した。

また同日は、チャリティーゴルフコンペも開催し、会員の親睦を図った。

A black and white photograph showing three men in suits standing in front of a building entrance, participating in a ribbon-cutting ceremony. They are holding scissors and a long ribbon that stretches across the frame. The man on the left is wearing a name tag. The building behind them has large glass windows and a sign that reads "AMERICAN MOTORCYCLE".

住宅の木造骨組展示

ミスミ建設(株) (三角皓三郎社長) とミスミガス (同) はこのほど、鹿児島市伊敷町に体験型シヨ

オープニングセレモニーでは、関係者多数が竣工を祝し、今後の発展を確信しあつた。また続く21日まで行われたオープニングイベントでも、最新工法が体感できる展示物や、格安のガス器具などが人気を呼び、多くの来場者で終日にぎわった。

最新の基礎、パッキン工法、や筋違ボックス、床のテション工法など、木造

神事で始まったセレモニーでは、三角社長、田平俊夫(株)ミスマ建設営業部長、上野康志(エネルギー営業本部)ミスマ事業部長がテープカットを行い、オープンを祝した。直会では、三角社長と三角桂次郎会長が「ミスマのノウハウを全て注ぎ込んだショールーム。本県で初めてマイクロガスタービンデシカント空調も展示した。不動産やパソコン、バリアフリーなど、新しい時代に生き残りをかけて、鹿児島から住宅に関する全てを発信する場所として位置付けたい」と決意を語り、続いて福

住宅の優れた構造が一目瞭然の木造骨組実物や、遮熱・防音・水密・強化ガラスなどの各種実験コーナー、床暖房、浴室乾燥など多彩な展示物が勢揃いしているほか、本県で初めて、環境保全・省エネルギー型次世代空調機「マイクロタービン排熱駆動型新デシカント空調機」が実動している。これはLPガスが燃料のマイクロガスタービンと、乾燥剤で空気中の湿気を取り除くデシカント空調機を組み合わせたコージェネレーションシステムで、コスト低減など大きなメリットがある。



鹿兒島大学工学部海洋土木工学科と同大地域共同研究センターは19日、稲盛会館でコンクリート工学における技術開発の動向をテーマに特別講演会を開き、コンサルタントや現場技術者ら約100人が聴講した。

講演で、添田政司福岡大学工学部講師は「再生骨材を使用したコンクリートの特性」の中で「解体コンクリートによって十分にする必要がある」と等と報告。また同大地域共同センター客員教授で九州テクノリサーチ(株)の中原康社長は「各種コンクリート工法の技術開発とその施工への適用」と題して講演。コンクリート技術開発の歴史についてふれた後、同氏の専門である水中不分離コンクリートについて「西ドイツで開発された技術だが、我が国に導入された

水道施設内を草払い

隼人町管工事業組合奉仕作業

準人町管工事業組合
 (田崎實会長、21社)は
 19日、第5回独り住まい
 高齢者住宅水道点検サ-
 ビスと同町水道施設構内
 草払い作業などの奉仕活
 動を行い、会員をはじめ、
 準人町水道課、町社会福
 祉協議会など約50人が参
 加しての懸命な作業が喜
 ばれた。

同日は午前8時30分に
 同町水道課に全員が集合。

出発の前に田崎会長、山
 元拓夫町社会福祉協議会
 常務理事が「管工事業と
 しての仕事で些少の地域
 社会への恩返しとして、
 十分な気配りを忘れず頑
 張って下さい」「継続的
 な皆さんのボランティア
 精神に感謝します」とそ
 れぞれ挨拶した後、各訪
 問宅へ出発した。

今年と同町北部の日当
 山、松永、嘉例川地区な

ど約250戸を対象に、地区の民生委員などの協力を得て、これまでの訪問先での留守宅をなくし、無駄な時間の解消で、3人編成の各班が各約戸を担当して活動を行った。訪問先では水道メーターの漏水点検から戸所浴場の水回りの点検依頼個所でのパッキン取り替えなど、専門業として手馴れた作業が各訪問で感謝された。

また、同日は同町木下房配水池構内の草払い作業班も整備作業に汗を流した。

健康の大切さ再認識

吉村工業安全衛生大会

吉村工業(株)(吉村三男社長、本社・始良郡霧島町)は19日、霧島町建友会館で13年度安全衛生大会を行い、社員、梅北建設(株)三洋建設、(有)満山興業の同社協力会から約50人が出席して労働・交通安全、健康について3講師の講話に安全、健康の大切さを再認識した。

会の冒頭、吉村社長が「毎年、講師の方々に出席頂き、労働・交通安全健康について講話を頂いているが、本日の講話を聞いてそれぞれが自分自身の事として、今後の安全、健康管理面に生かして下さい」と挨拶。

続いて、岩澤幸男安全管理アドバイザーが現場事故での元請け、下請けの責任範囲、事故発生時の防災保険のしくみ等、事故発生での当事者、企業の損失について講話の

平成13年度吉村工業(株)労働安全衛生大

[illegible]

講話を自分自身の安全・健康管理へ生かそう
——と訴える吉村社長＝霧島町の建友会館で

署交通課長が車両運転時
後、上之原秀男国分警察
のABCについて（A＝
当たり前の事をB＝ぼさ

つとせずにC＝ちゃんとやれ」と、最近の国分警署管内で多発している交通事故を例に挙げ、事故防止は決められた事を厳守する事が決め手などとした。最後に杉安浩一郎杉安病院長が「腰痛とその対策」について現場作業時で起こる腰痛の予防と対策について、予防のための正しい姿勢や日常生活での注意など腰椎のエクス写真を使い健康講演があり、最後に吉村敏事務が「安全・健康の更なる自己管理を」と述べ、大会を終えた。